

救急質問コーナー第2弾！！

(救急車到着から病院到着編)



救急車が到着してから病院に到着するまでの間「みなさんが気になる疑問」「救急隊が実際に質問されたこと」をQ&Aにしてみました！

Q 1 搬送する病院は、どのように決めているのですか。

希望する病院に搬送してもらうことは可能ですか。

A 傷病者(具合がわるくなった人やケガをした人)の症状や身体所見、またバイタルサイン(血圧や脈拍)等の観察結果を踏まえて、救急隊が適切な医療機関を判断します。

かかりつけ(普段から診察を受けている)医療機関のほうが、治療がスムーズで傷病者への負担が少ないと判断される場合には、搬送することも可能です。



Q 2 救急車は、他の緊急車両(パトカー等)に比べると走行する速度が遅いのはなぜですか。

A 救急車は高速走行用に製作された車両ではなく、傷病者の搬送を目的とした車両です。

走行中の揺れは、傷病者への気分不良や痛みの増悪に加え、救急隊が行う応急処置に大きな影響を与えるため、まずは傷病者の安全を第一として、必要以上の速度は出さないよう走行しています。

Q 3 なぜ、救急車はすぐに出発しないの。

A 救急車内では、傷病者の観察や応急処置の他に、搬送する医療機関に傷病者の状態等を伝え、受入れてもらえるかの確認連絡を行っています。

この連絡には、2つの大きな目的があり、1つは、医療機関側に傷病者の状態を把握してもらい、治療等の準備に繋げていただくこと。

そして、もう1つは、行き先が決まっていない状態での不要な走行を避けるためです。

傷病者本人や家族等から『かかりつけの医療機関だから、診てくれるはず、早く向かってほしい』との申し入れを受けることがあります。

この場合、問題なく受入れてもらえれば、早く医療機関に収容することができますが、もし何らかの理由により受入れが困難な場合、他の医療機関への搬送となり、見切り発車で走行が、結果的には無駄な時間を費やすことになるのです。

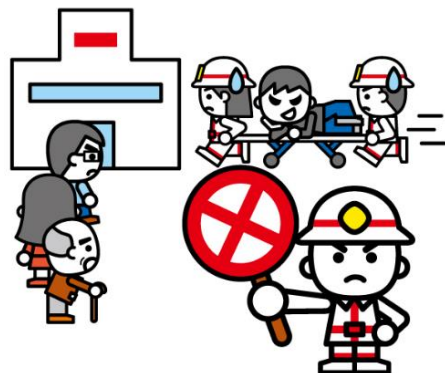
救急隊は、一刻も早く医療機関での治療を開始できるよう、救急活動を実施していますので、ご理解とご協力を宜しくお願いします。



Q 4 救急車で病院に行くときすぐに診察してもらえるって、本当ですか。

A 救急車で医療機関に行ったとしても、重篤な症状等の場合は直ちに治療開始となりますが、医療機関の判断で、軽症と判断された場合には、一般の患者さん同様に、順番をお待ちいただいて受診していただくこととなります。

優先的に診てもらえる

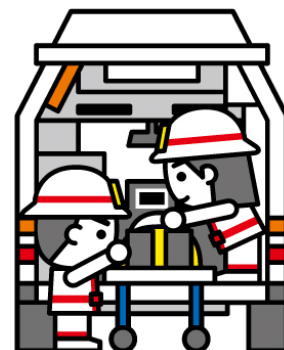


Q 5 救急車には何人乗ることができますか。

A 乗車定員は7人であり、救急隊員は3人乗っていますので、残り4人までは乗車することができます。

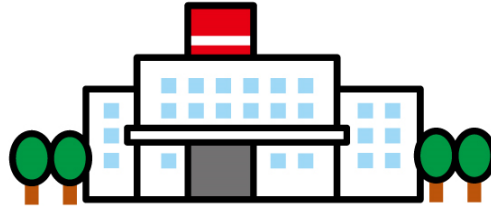
救急車には、傷病者を乗せるためのストレッチャー（傷病者を乗せる移動式担架）が1台積載されています。さらに後部座席をベッドとして使用することで、別にもう1人の傷病者を横に寝かせて搬送することができます。

座席に座ったまま搬送ができる場合は最大4人まで可能です。



Q 6 事前に病院へ連絡し診察してもらえるようにしていたが、救急隊が病院に連絡するのはなぜですか。

A すべての救急事案において、救急隊から直接病院に確認の連絡をします。傷病者の状態や症状によっては、事前に病院に連絡していても、受け入れてもらえない場合等があるからです。



Q 7 救急車を呼んだときは、付き添い者は必要ですか。自分の車で搬送先の病院に向かうことはできますか。

A 可能な限り付き添い（救急車への同乗）をお願いします。ご自分の車等で搬送先の病院に向かうこともできますが、必ず交通ルールは守ってください。

（救急車は緊急走行時、赤信号を通過しますが、一般車両は、救急車を追走している場合であっても通過することはできません。無理な追走は交通事故を起こす危険性が高まりますので、慌てずに病院にお越しください。）



Q 8 救急隊が到着しても、施錠されていて、中から開けられない場合はどうなりますか。

A 窓等が開いていないか確認し、施錠されていなければ、そこから中に進入します。

緊急性がある場合には救助隊等を出場させ、ドア等を破壊します。この場合には、警察官等へ立会いを依頼するとともに、借家やアパートであれば大家さんや管理会社に、また、持ち家であれば家族等への連絡を行うこととしています。